

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 機械器具整備費（公共）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部労働雇用課人材育成係 電話番号：058-272-1111（内 3126）

E-mail： c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,003 千円（前年度予算額：18,500千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	18,500	9,250	0	0	0	0	0	0	9,250
要求額	14,003	7,002	0	0	0	0	0	0	7,001
決定額	13,303	6,651	0	0	0	0	0	0	6,652

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校において、ものづくりを中心とした現場のリーダーの養成に必要な職業訓練を実施するにあたり、充実した訓練を図るため必要な訓練用機械の計画的な整備を実施する。

（2）事業内容

訓練用機械器具の整備

- ・老朽化に伴う整備（更新）

（3）県負担・補助率の考え方

職業能力開発設備整備等補助金充当（厚生労働省）

購入費の1／2補助

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	14,003	訓練用機器
合計	14,003	

決定額の考え方

過去の落札率を勘案し、所要額を計上します

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

職業能力開発促進法に基づき設置・運営している県立職業能力開発短期大学校で職業訓練に必要な機器を適正な訓練実施のために更新等を実施する。令和3年度は、3件の機器整備の更新等を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

職業訓練を実施するために必要な機器について整備するものであり、数値的な資料を設けることは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

生産技術科 1件

建築科 2件

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

職業訓練において活用することにより、訓練の内容を充実させることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	ものづくりを中心とした現場リーダーの養成のための職業訓練を実施するために必要な訓練用機器を整備する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	訓練実施に必要な機器等を整備することにより、現場のリーダーの養成職業訓練を実施することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	老朽化した訓練用機器、新たに必要となる訓練用機器など計画的な整備を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 老朽化した訓練用機器の整備と新たに必要となる訓練用機器の計画的な整備が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 機器整備状況に応じて、計画的に更新していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	無し
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	無し